

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成19年度～平成23年度																																
事業実施地区名 （都道府県名）	四万十川森林計画区 （しまんとがわ） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 四万十森林管理署																																
事業の概要・目的	<p>四万十川森林計画区は、四万十川の源流部から足摺岬までの高知県西部に位置し、国有林野面積が51,631haあり地域を代表する多種多様な林相からなり、自然美の景観としても優れているものも多く、国立公園・保護林・レクリエーションの森等に多数が指定されている国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であり、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽等の更新作業、下刈・除間伐等の保育作業及び林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">390（ha）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">2,278（ha）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">24.1（km）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">51.3（km）</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	390（ha）			保育面積	2,278（ha）		路網整備	開設延長	24.1（km）			改良延長	51.3（km）																
主な事業内容	森林整備	更新面積	390（ha）																																
		保育面積	2,278（ha）																																
	路網整備	開設延長	24.1（km）																																
		改良延長	51.3（km）																																
費用対効果分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">総費用（C）</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">2,725,970（千円）</td> </tr> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>水源かん養便益</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,541,431（千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山地保全便益</td> <td></td> <td style="text-align: right;">361,081（千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全便益</td> <td></td> <td style="text-align: right;">99,675（千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木材生産便益</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,499,389（千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,380,197（千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">8,881,773（千円）</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">3.26</td> </tr> </table>			総費用（C）			2,725,970（千円）	総便益（B）	水源かん養便益		1,541,431（千円）		山地保全便益		361,081（千円）		環境保全便益		99,675（千円）		木材生産便益		3,499,389（千円）		森林整備経費縮減等便益		3,380,197（千円）		計		8,881,773（千円）	分析結果（B/C）			3.26
総費用（C）			2,725,970（千円）																																
総便益（B）	水源かん養便益		1,541,431（千円）																																
	山地保全便益		361,081（千円）																																
	環境保全便益		99,675（千円）																																
	木材生産便益		3,499,389（千円）																																
	森林整備経費縮減等便益		3,380,197（千円）																																
	計		8,881,773（千円）																																
分析結果（B/C）			3.26																																
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 森林の有する多面的機能を健全に維持発揮させるため、森林の生育段階に応じた施業を実施して、森林に対する地域の要請に応じられると共に森林を将来の世代に健全な形で引き継いでいくため本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																																		